

§ 3 糸満市の産業振興の方向性

糸満市及び周辺地域を取り巻く社会環境が大きく変化していることを踏まえ、糸満市の産業振興の方向性について考えます。

①糸満市の産業課題

糸満市の製造業は食料品の比重が高く、また比較的規模の大きい事業所が多いものの、新規参入の受け皿であった糸満工業団地の用地はすでに完売し、新たな企業誘致のための一団の土地はない状況にあります。

一方、商業については、那覇市や豊見城市等に立地する大型商業施設等の影響により、消費者の市外流出の動きが続いているものと考えられます。

平成 27 年の完全失業率は 6.9%で、沖縄県全体 (6.3%) を上回っています。また、南部の各市と比較して最も高い数値となっています。

労働力状態、男女別 15 歳以上人口一県、市町村 (平成27年) (総数)								
市町村	総数	労働力人口			非労働力人口	労働力率 (%) 2)	非労働力率 (%) 2)	完全失業率 (%)
	1)	総数	就業者	完全失業者				
県 計	1,170,446	629,394	589,634	39,760	398,505	61.2%	38.8%	6.3%
市 部 計	905,856	479,063	448,775	30,288	300,994	61.4%	38.6%	6.3%
郡 部 計	264,590	150,331	140,859	9,472	97,511	60.7%	39.3%	6.3%
那 覇 市	263,690	136,531	127,621	8,910	86,859	61.1%	38.9%	6.5%
宜 野 湾 市	77,540	40,438	37,853	2,585	24,674	62.1%	37.9%	6.4%
石 垣 市	38,669	23,832	22,711	1,121	11,497	67.5%	32.5%	4.7%
浦 添 市	92,102	48,949	46,104	2,845	29,310	62.5%	37.5%	5.8%
名 護 市	50,063	27,025	25,651	1,374	16,845	61.6%	38.4%	5.1%
糸 満 市	47,601	28,270	26,320	1,950	17,831	61.3%	38.7%	6.9%
沖 縄 市	113,017	53,861	49,997	3,864	35,857	60.0%	40.0%	7.2%
豊 見 城 市	48,421	26,436	25,085	1,351	14,319	64.9%	35.1%	5.1%
う る ま 市	97,493	49,206	45,519	3,687	34,943	58.5%	41.5%	7.5%
宮 占 島 市	42,350	24,612	23,297	1,315	14,826	62.4%	37.6%	5.3%
南 城 市	34,910	19,903	18,617	1,286	14,033	58.6%	41.4%	6.5%

※「沖縄県・市区町村別統計表 (国勢調査) -平成 27 年」より

②産業振興に寄与する社会環境等

- ・国道 331 号豊見城道路・糸満道路の開通による那覇空港及び那覇港へのアクセス性が格段に向上し、産業立地のポテンシャルが高まっています。
- ・糸満市は、平成 26 年から「国際物流拠点産業集積地域」に指定され、優遇税制 (国税、関税、地方税) が適用されるようになり、企業立地に適した環境となっています。
- ・沖縄県は、入域観光客数が平成 29 年 (暦年) に初めて 900 万人を突破する等、入域観光客数・観光収入が急伸傾向にあり、観光産業は好調であると言えます。

- ・糸満市は、南部の中では宅地の割合が低く農地等の占める面積が大きいことから、国の農地に対する規制緩和が進むことにより、原則不許可となっていた第1種農地、農用地区域内農地についても、新たな産業の受け皿となる用地確保の可能性が高くなっていくものと考えられます。

上記のような状況から、糸満市において新たな産業の受け皿となる用地確保の可能性や、当該用地への企業誘致の可能性が拡大していると考えられます。

③沖縄 21 世紀ビジョン（改定計画）における南部圏域の展開

本基本構想の上位計画として位置付けられる「沖縄 21 世紀ビジョン基本計画（改定計画）」では、南部圏域の今後の展開の基本方向として、「個性豊かで魅力あふれる基幹都市圏の形成」の中で「人的・物的交流拠点の機能強化」を、また、「圏域の特色を生かした産業の振興」の中では「那覇空港及び那覇港を基軸とした国際物流拠点の形成」を図り、「臨空・臨港型産業の振興と産業イノベーションの推進」が掲げられています。

④広域的役割をも踏まえた糸満市の産業振興の方向

糸満市は、人・モノ・資金の集散・流通量が集中している南部圏域の外縁部に位置し、那覇空港及び那覇港等へのアクセス性が高い場所にあります。そのような状況を踏まえ、糸満市の産業の方向性について下記のように考えます。

- * 流通・物流が集中する南部圏域の都市として、物流拠点産業集積地域を形成します。（人、モノ、資金、情報等が円滑に交流し、共生するための拠点づくり）
- * 沖縄県における成長のエンジン「移外型産業」の育成と成長の翼「域内産業」の活性化を図るため、物流拠点産業集積地域を形成します。
- * 糸満市内における企業誘致の受け皿として、物流拠点産業集積地域を形成します。

物流拠点産業集積地域を形成することにより、定住促進、雇用の拡大と安定、産業振興、税収の増加等に寄与するものと考えます。